

# 親子聖書日課

NO.1566 2018.9/30-10/6 名前

[日]私達にもシホンのように、主に逆らう強情な心はありませんか。主は「それを取るために占領を開始せよ」と命じました。自分の力ではできませんが、日々御霊の力によって、肉の支配地を占領し、神の国を心の中に広げていくことです。

[月]神から「お前にはもう勝利が与えられている」と言われたら、恐れは消えます。私達には既に主によって、罪と死に対する勝利が与えられていますから、罪と死を恐れません。御言葉の約束を確信すれば、どんな時も平安と希望があります。

[火]約束の地に入りたいというモーセの願いは聞かれず、後継者ヨシュアをカブことが命じられました。リーダーとは、自分が先頭に立って何でもやることではなく、後継者を育てることです。教会の成長は、後継者の育成にかかっています。

[水]モーセは主の教えを、子や孫に伝えることを命じました。自分だけが救われることで満足する信仰は、自己中心で祝福されません。主の救いに与った者は、主の証人となり、信仰を継承することが大切です。親子で聖書日課に励みましょう。

[木]日本にも木や石の神々が満ち、それに仕える人が沢山います。そこには救いはありません。真の神に出会うには、主を尋ね求めることが大切ですが、誰かの手引きが必要です。主の救いのガイド役になって、一緒に天国を目指しましょう。

[金]「私が契約を結んだのではないから、守らなくてもいい」ではありません。「今、ここに生きている我々」と結ばれたのが、ホレブの契約ですから、十戒は忠実に守る必要があります。前半の4つは、神に対して、後半の6つは人に対する戒めです。

[土]民は神の声をこれ以上聞かざれば、罪深い自分は死ぬと感じました。神の栄光が示されるとは、そういう辛い経験でした。私達には救い主がおられるので、死ぬことはありませんが、命と幸いを得るためには、主を恐れ、主の戒めを忠実に守ることです。



	聖書	問題	答え
日	申命記 2:24-37	それを取るために何を開始すべきですか。	
月	3:1-17	彼をどうしてはならないと、主は言われましたか	
火	3:18-29	ヨシュアを任務につけ、彼をどうしなさいと、主は言われましたか。	
水	4:1-14	主につき従ったあなたたちは皆、今日どうなりましたか。	
木	4:15-49	心を尽くし、魂を尽くして求めるならば、あなたはどうなりますか。	
金	5:1-22	主はこの契約を、今ここに生きている誰と結ばれましたか。	
土	5:23-33	主が命じられた道をどのように歩むべきですか。	
	感想と祈りの課題		